学校番号	306

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	標準古典Ａ　物語選　改訂版　（第一学習社）						
副教材等	ダブルクリア　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年生では１年生で学習した言葉や文法、古典常識の知識を生かして、社会人として読んでおくべき古典作品に触れましょう。
・現代語訳を作り、発表するなど、主体的でアクティブに学習活動に参加する授業を行います。
・ただ単に現代語訳するだけではなく、登場人物の心情や作者の主張を理解する力をつけていきましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。また、忘れ物のないように、あらかじめ準備しておきましょう。

2　学習の到達目標

・歴史的仮名づかいに注意して、正確に音読できる。
・古典単語や文法を覚え、現代語訳に生かすことができる。
・人物関係を把握し、登場人物の心情や筆者の主張を理解することができる。
・伝統的な言語文化を尊重する心を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	伝統的な言語文化に対する関心と理解を深め、主体的に古典作品に親しんでいる。			古文や漢文の調子などを味わい、内容を読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシートなど） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ワークシート、ノートなど） 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話	文章を正確に読み比べ、その違いを認識する。 教材:「古本説話集」 平中が事	○			◎	○	a:他の説話や物語などに興味を広げ古典のおもしろさを味わう。 d：平安時代特有の価値観について知り、平中がうそ泣き用の硯壺を持ち歩いていたことの意味を理解させる。 e:古典単語の意味を理解する。	a.d.e:行動の観察と確認 ワークシート、ノート 定期考査
	随筆	平安時代の宮中の様子や当時の中国文化の影響について理解を深める。 教材:「枕草子」	○			◎	○	a:「枕草子」や清少納言について関心を持ち、理解を深めようとしている。 d:話の内容を読解し、筆者の考え方を理解する。 e:作者や和歌の修辞技巧について理解を深める。	a.d.e:行動の観察と確認、記述の確認、 ノート 定期考査
2学期	物語	敬語をはじめ読解の前提となる文法知識を身につける。また、話の展開をつかみ、登場人物の心情を理解する。 教材:「源氏物語」葵 ワークシート	○			◎	○	a:「源氏物語」や紫式部について関心を持ち、理解を深めようとしている。 d:話の内容を読解し、登場人物の心情を理解する。 e:敬語の知識を身につける。	a.d.e:行動の観察と確認、記述の確認、 プリント、ノート 定期考査
	物語・百人一首	話の展開をつかんだ上で、場面描写や和歌と登場人物の心情の関係を理解する。 教材:「源氏物語」須磨 教材:「古今和歌集」	○			○	○	a:作品をとりまく時代背景や文化的環境について理解する。 d:物語の筋の中での和歌の意味を理解する。 e:和歌の修辞技巧の知識を身につける。	a.d.e:行動の観察と確認 プリント、ノート 定期考査
3学期	漢文	漢文がもとになってできた言葉について知り、言語文化への興味・関心を広げる。 教材：「四面楚歌」	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a.d.e:行動の観察と確認、記述の確認、 プリント、ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力

d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。